

「アゼルバイジャン鉄道公社」について

1. 「アゼルバイジャン鉄道公社」(以下「ADY 社」)は、アゼルバイジャン国内における鉄道貨物輸送及び旅客輸送を行う国有企業です。同社の管理する鉄道網は全長 2,079.3km であり、国内鉄道貨物輸送を一手に担っています。
2. ADY 社は、アゼルバイジャンの地の利を生かして国際輸送サービスも提供しています。経済トピック「アゼルバイジャンの輸送ハブ化～BTK 鉄道の活用～」でも紹介している BTK 鉄道のオペレーターは ADY 社です。加えて、国境通過に伴う通関手続きについては同社の子会社に当たる ADY Container 社が対応しています。
3. ADY 社は、BTK 鉄道以外にも広域にわたる輸送網を活用した貨物輸送を行っています。同社ウェブサイトによると、①バルト海(ロシア・エストニア・ラトビア)とアゼルバイジャンを繋ぐルート、②インドからペルシャ湾、イランを経由してアゼルバイジャンを繋ぐルート、③中国からカザフスタンを経由してアゼルバイジャンへ至るルート、④リトアニアからベラルーシ、ウクライナ、ジョージアを経由してアゼルバイジャンへ至るルートなどがあります。
4. 同社によると、上記陸上輸送ルートを活用することで、他輸送モードよりも短期間での輸送が可能になります。一例として、ペルシャ湾からバルト海までの輸送に要する期間を比較した場合、海上輸送(ペルシャ湾-スエズ運河-地中海-バルト海)は 45-60 日を要するのに対し、陸上輸送(ペルシャ湾-イラン-アゼルバイジャン-ロシア)では 20-25 日での輸送が可能です。また、鉄道の電化も進んでおり、アゼルバイジャンから黒海沿岸のポチ港までの全区間で電化が完了しています。
5. ご参考として、同社のウェブサイト URL を記載致します。
<http://adycontainer.com/>(英語・アゼルバイジャン語)

(以上)